

日産純正部品



日産オリジナル  
ナビゲーションシステム

MC313D-W

MC313D-A

取扱説明書

日産純正部品  
ナビゲーション  
PART No.  
B8260-C9947  
B8260-C9948  
B8260-C9949

ご使用前は必ずお読みください。

1304

# このたびはお買い求めいただき ありがとうございます

ご使用になる前に、必ず取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。

特に「安全にお使いいただくために」では、ご本人や他の人々への危害や損害を負うことなく安全にご使用いただくためのご注意を記述しておりますので必ずお読みください。→ P.2

お読みになった後は、いつでも見られるところに大切に保管してください。

- 本書の内容の一部は、仕様変更等により、本機と一致しない場合があります。あらかじめご了承ください。
- 本書の内容の一部は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

本機を第三者に譲渡、転売、廃棄される場合は、お客様の個人情報及び著作権保護のため、本機に保存されたすべてのデータの消去（初期化）を行ってください。

## ■ 本書に記載されているマークの意味



**警告**

指示にしたがわないと、死亡または重大な傷害に至る可能性があることを説明しています。



**注意**


指示にしたがわないと、傷害を受ける可能性があることを説明しています。

**お願い**

「警告」や「注意」には該当しないが、金銭や時間を大きく損なう危険性があることについて説明しています。

## ■ ハードボタンとタッチキーについて

本体に付いているハードボタンを操作するときは、本書では以下の例のように枠囲みで表記しています。

例：メニュー

また本機は、画面を指先で触れるだけで操作ができるタッチパネル形式を採用しています。

画面上のキーをタッチして操作するときは、本書では以下の例のようにグレーのキーで表記しています。

例：名称

**準備**

操作をするために、あらかじめ行わなければならないことを説明しています。

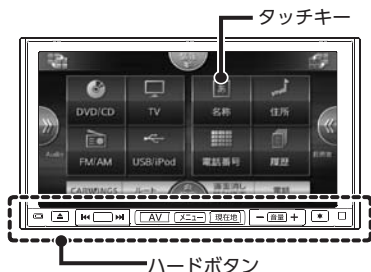
**お知らせ**

操作を行ううえでの制限事項などを説明しています。

**MEMO**

本機を使いこなすための補足事項を説明しています。

MC313D-A



MC313D-W





# 本書の構成

- 操作の前に→ P.5
- 地図画面の見かた→ P.20
- 目的地を探す→ P.33
- 地点・ルートを登録する→ P.47
- ルートの設定と案内→ P.51
- 情報を利用する→ P.68
- 通信 (Bluetooth) を利用する→ P.81
- カーウイングスを利用する→ P.94
- オーディオ・ビジュアルを楽しむ→ P.106
- 各種設定→ P.147
- 便利な機能 (アクセサリ) を使う→ P.169
- ナビゲーションを更新する→ P.186
- 困ったときに…→ P.192
- 付録→ P.211

# 安全にお使いいただくために

## 安全に関する表示

「運転者や他の人が傷害を受ける可能性のあること」を下記の表示で記載し、その危険性や回避方法を説明しています。これらは重要ですので、必ずお読みください。

	<b>警告</b>	指示にしたがわないと、死亡または重大な傷害に至る可能性があることを説明しています。
	<b>注意</b>	指示にしたがわないと、傷害を受ける可能性があることを説明しています。



## 本製品での誘導情報を救急施設などへの誘導用に使用しない

本製品にはすべての病院、消防署、警察署などの情報が含まれている訳ではありません。また実際の情報と異なる場合があります、そのため予定した時間内にこれらの施設に到着できない可能性があります。

## 作業前に必ずバッテリーのマイナス端子を外す

感電やけが、機器故障の原因になります。

## 走行中、運転者は本機の注視や操作をしない

道路状況への注意が散漫になり、交通事故の原因となります。必ず安全な場所に停車してから行ってください。



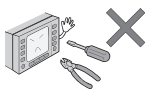
## 実際の交通規制に従う

ナビゲーションの画面に表示された地図、一方通行標識、交通規制標識・標示等、またはルート案内（推奨ルートや音声案内）などの情報は、実際の道路状況と異なる場合があります。必ず実際の道路標識、交通状況に従って走行してください。交通事故の原因となります。



## 分解や改造をしない

コードの被覆を切って他の機器の電源を取ったり、ケースを開けて注油したりしないでください。事故、火災、感電、故障の原因となります。



## ヒューズ交換時は専門技術者に交換を依頼し、規定容量品を使用する

規定容量を超えたヒューズを使用すると、火災や故障の原因となります。

## 故障や異常のまま使用しない

画面が映らない、音が出ない、異物が入った、水がかかった、煙が出る、異常な音がする、変なにおいがするなどの場合は、ただちに使用を中止してください。火災、感電の原因となります。



## ベンジン、シンナー、自動車用クリーナー、つや出しスプレーなどを使用しない

車内で使用すると可燃性ガスが引火するなど、火災の原因となります。

また、それらを使用して本機をお手入れすると変質したり、塗装がはがれるなどの原因になります。

## SDメモリーカードは乳幼児の手の届く所に置かない

誤って飲み込むおそれがあります。万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師の診断を受けてください。



## 注意

### 取り付け、取り外し、取り付け変更や配線は、専門技術者に依頼する

正しく取り付けや配線をしてください。誤った取り付けや配線をする、運転に支障をきたした事故や故障の原因となります。

### 本機を車載以外の用途に使用しない

けがや感電の原因となることがあります。

### 運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度で使用する

車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。

### 操作パネルの上に物を置いたり、強い衝撃を与えない

操作パネルや液晶表示部が故障や破損・変形する原因となります。



上に物を置かない



手で強く押さない



ボールペンの先端、ピン、爪の先など、硬いものでこすったりたたいたりしない



水滴やジュースなどの飲みものをかけない

### 操作パネルの開閉や角度の調整時に、手や指をはさまないように注意する

けがの原因になります。

## お願いとお知らせ

### ■ 液晶表示について

- 画面の中に小さな黒点、輝点が現われる場合がありますが、これは液晶モニター特有の現象で、故障ではありません。
- タッチパネルに保護シートなどを貼らないでください。反応が遅くなったり、誤作動の原因となることがあります。液晶パネルがよごれた場合は、「本体のお手入れ」をお読みください。→ P.229

### ■ 使用環境について

- バッテリーあがり防止のため、本機の操作は、車のエンジンをかけた状態で行ってください。
- 本機は高速CPUを搭載していますので、ケースが熱くなることがあります。使用中やエンジンキーをOFFにした直後の取り扱いは、十分に注意してください。
- インテリジェントキーシステムが装着されている車では、キーをナビゲーション本体に近づけると、ナビゲーション本体が動作しなくなる場合があります。また、キーをナビゲーション本体やBluetoothオーディオ機器に近づけると、音飛びが発生する場合があります。キーを離してご使用ください。
- 本機の近くで強力な電氣的ノイズを発生する電装品を使用すると、画面が乱れたり雑音が入る場合があります。このような場合は、原因と思われる電装品を遠ざけるか、ご使用をお控えください。

### ■ ルートについて

- 検索機能から表示される施設の位置をそのまま目的地に設定した場合、施設の裏側や、高速道路上など、不適切な場所に誘導してしまう場合があります。あらかじめご了承のうえ、目的地付近の経路をお確かめになるよう、お願いいたします。
- 音声データにより聞き取りにくい名称があります。
- 提供されるVICS情報は参考情報であり、最新のものではありません。
- ルート（経路）計算ができないときは、目的地を近くの主要な道路に移して計算してください。また、目的地までの距離などの条件によっては、計算できない場合があります。

## ■ 保証期間内の保証に関するご注意

- 保証を受ける際は、お買い上げの日産販売会社（ディーラー）にご相談ください。
- 保証の際には、付属品を回収させていただく場合がございます。
- 本機の故障により保存できなかったデータ、および消失したデータに関しては、保証いたしておりません。
- 次のような場合は、保証期間内でも保証は適用されません。
  - ・お取り扱い上の不注意（取扱説明書以外の誤操作、落下、衝撃、水濡れなど）
  - ・不当な修理や改造・分解による故障および損傷
  - ・火災、塩害、ガス害、地震、風水害、落雷、異常電圧およびその他の天災地変による故障および損傷
  - ・ご使用後の傷、変色、汚れおよび保管上の不備による損傷

## ■ 著作権について

- 本機は許諾契約に基づき弊社が使用許諾を受けた第三者が著作権を所有するソフトウェア及びデータを収録しています。取説記載内容にて明示的に許諾される場合を除き、本機からのソフトウェア（更新プログラム、データを含む）の取り出し、複製、改変等の行為は法律で固く禁じられています。